

# CO・CO<sub>2</sub>濃度測定器 使用マニュアル



山梨産業保健推進センター

## 【各部の名称】

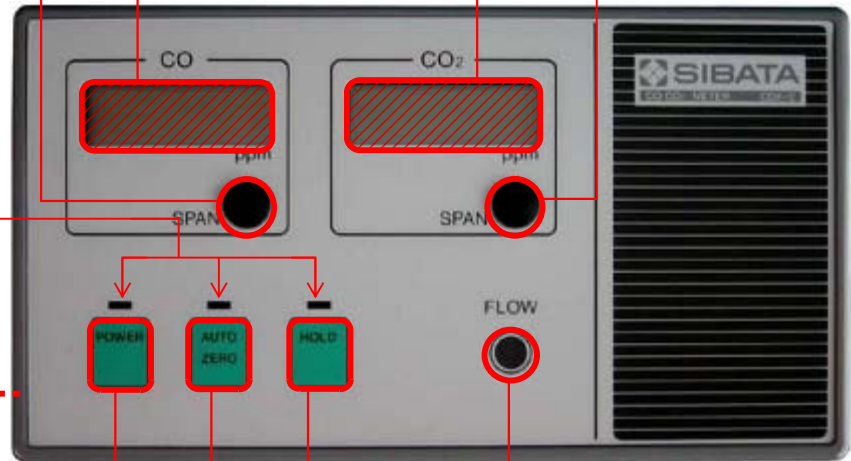
CO 濃度表示部

CO SPAN ボリューム

CO<sub>2</sub> 濃度表示部

CO<sub>2</sub> SPAN ボリューム

暖気ランプ  
AUTOランプ  
HOLDランプ



【上部】

FLOWチェッカー

〔 HOLD 〕 ボタン

〔 AUTO / ZERO 〕 ボタン

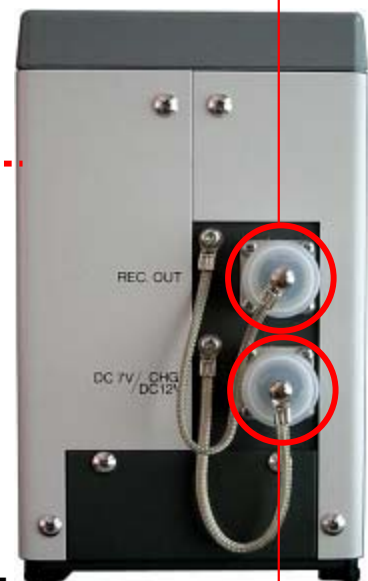
〔 POWER 〕 ボタン

REC . コネクタ



【全体】

ガス吸引口  
(フィルタキャップ)



【右側面】

DC 7 V / CHG . コネクタ

## 1 . 付属品の確認

測定前に本器及び付属品が全て揃っているか確認して下さい。

本器  
校正用ガスバック ( × 2 )  
ACアダプタ / 充電器  
調整用ドライバー  
記録計接続ケーブル  
ガス採取管 ( 1 m )  
O - リング  
ゼロ調整用ガス  
校正用ガス

## 2 . 濃度測定前点検

フィルタキャップを回して外します。  
アルコール除去筒の除去剤 ( オレンジ色と黒色 ) が緑色または茶黒色に変色していないか確認します。

オレンジ色部分の残量が 3 cm 以下の場合は、新しいものと交換します。

[ POWER ] ボタンを押し、電源を入れます。  
約 2 秒間、液晶表示部 全表示、各種ランプ 全点灯するので確認します。

暖器 ランプが点滅し、暖器が開始します。( 約 2 分間 )  
また、測定用ガスの採取も行われます。

CO<sub>2</sub> 濃度表示部に暖器時間が表示されます。

暖器中 ( 約 2 分間の内 ) に以下の確認を行って下さい。

- ・ CO 濃度表示部に表示されている電池電圧が [ 7 . 8 V ] 以上あるか。
- ・ FLOW チェッカーに白いボールが浮いているか。

点検終了。  
暖器ランプが消灯します。

### 3 . ガス濃度測定

#### ( 1 ) 瞬時濃度測定

暖気終了後、各液晶表示部にガス濃度が表示 ( 0 . 5 秒毎に更新 ) されます。

#### ( 2 ) 平均値機能

[ HOLD ] ボタンを押します。  
HOLDランプが点滅します。

平均値が90秒後に表示されます。  
平均値表示時、HOLDランプが点灯します

平均値 : [ HOLD ] ボタンを押してから30秒経過後のデータを  
60秒間平均します。

再度、[ HOLD ] ボタンを押すと平均値機能は中断されます。

### 4 . ガス濃度測定の終了

[ POWER ] ボタンを何秒間か押し続け、電源を切ります。

### 5 . センサーの調整

#### ( 1 ) センサーのゼロ調整

校正用ガスバックに50 ~ 100cc程度のゼロ調整用ガスを入れます。

ガス吸引口にゼロ調整用ガスの入った校正用ガスバックを接続します。

接続した校正用ガスバックが空になったら、ピンチコックを閉めます。

再度、校正用ガスバックにガスバックの半分 ( 1000cc ) 程度の  
ゼロ調整ガスを入れます。

ガス吸引口に校正用バックを接続し、[ AUTO ] ボタンを約3秒間押し続けます。

AUTOランプが点滅したら [ AUTO ] ボタンを離します。  
自動ゼロ調整が開始されます。

ゼロ調整ランプが消灯し、ガス濃度表示がゼロになります。  
ゼロ調整終了。

ガス吸引口から校正用バックを外します。

## ( 2 ) センサーのSPAN校正

SPAN校正は必ずゼロ調整後に行ってください。

校正用ガスバックに校正用ガスを少し入れます。

校正用ガスバックに入れたガスを捨てます。

再度、ガスバックが半分程度ふくらむまで校正用ガスを入れます。

ガス吸引口に校正用ガスを入れたガスバックを接続します。

CO濃度指示部の表示が安定したら、CO SPANボリュームを回して表示を校正用ガス濃度に合わせます。

CO<sub>2</sub>も手順 と同様に行います。

SPANボリュームを回しても指示が上がらない時は、センサーの交換です。センサーの交換はメーカーで行ってください。

### 《このマニュアルを使用されます方へ》

- ・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
- ・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いします。